

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	八王子美山学園	受審(実施)年度 (※)	令和2年度	施設番号	41-0015
-----	---------	-----------------	-------	------	---------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和2年度)	改善計画 (令和2年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和3年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あつた場合の実施状況 (令和4年4月30日時点)
人事考課 と人材育成の具体的施策のさらなる取り組みについて	当法人にあつた人事考課シートを作成し昇任制度とリンクし実施している。また部署、役職別に人事考課シートを作成しより細かく人事考課できるようしている。	更に現場にあつた評価ができるように現場の声も聞き検討、見直しを実施していく。現場の声を聞くためにも役職は定期的にまた必要時に面談を実施していく。新人に関しては面談回数を多くし精神的にもフォローし育成していく。	1 実施済み 2 実施予定 (令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和 年 月) 具体的には以下のとおりです。
日常のサービス向上を更に進めるために、支援員の充実について	支援員充実のため、支援員募集をハローワーク、就職フォーラム求人票提出、学校への求人、ホームページ掲載等あらゆる方法で実施する。また当法人の魅力等分かりやすく具体的に掲載する。	年度末に学校求人には学生が分かりやすく具体的に仕事の内容を掲載していく。その他、引き続きあらゆる募集は続けていく。また今年度は状況をみて年度末に費用はかかるが求人業者にもお願いしていく。	1 実施済み 2 実施予定 (令和3年12月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 今年度から看護師1名、支援員6名の採用に繋がった。引き続き足りない部署の求人募集実施	1 実施済み (令和4年1月) 具体的には以下のとおりです。 令和4年1月に費用をかけチラシ広告、ネットでの発信も実施した。 看護師2名、支援員3名の採用に繋がった。
新たな生活パターンで、今までの暮らしが戻る支援について	令和2年度はコロナ禍のため利用者が楽しみにしていた地域との交流、旅行等の自粛、また外泊も控えもらい我慢の1年であった。その中でも利用者の楽しみが少しでも増えるように工夫し検討していく。	コロナ禍の状況は変わらないため学園内でできる行事、買物等の余暇活動を企画し実施していく。外出する機会ができる状況ではしっかり新型コロナウイルス感染症予防を実施していく。また外泊は難しい状況であるが新型コロナウイルス感染症予防を実施し家族との面会も検討していく。	1 実施済み 2 実施予定 (令和4年3月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和3年12月) 具体的には以下のとおりです。 コロナ禍のため、引き続き地域交流、行事、外出等の自粛は変わらなかったが、コロナが落ち着いた年末年始の外泊はPCR検査をすることで、実施できた

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。